



第21回地域療育講習会

医療社会事業担当 江藤 圭子

7月29日（金）多摩総合医療センター「フォレスト」において、地域の療育関係者を対象とした今年度1回目の地域療育講習会を開催しました。この講習会は当センターで培われてきた療育経験から得られた知見や提案を、地域で重症心身障害児（者）の療育に携わっている多くの方々に役立てていただきたいという趣旨で平成19年から実施しています。

今回は講師に、当センターの喘慢性呼吸疾患看護認定看護師、成澤理学療法士に加え、多摩総合医療センター耳鼻咽喉科頭頸部外科医長である中屋医師をお招きし、「重症心身障害児者の呼吸管理～呼吸障害の手術前後とケア」と題して呼吸に関する基礎知識、重症心身障害児（者）の呼吸の特徴、呼吸不全に対する呼吸管理、気管切開の適応、理学療法の目標、喉頭気管分離手術の実際について画像や動画を用いながら講義を行いました。

重症児（者）には多様な原因により、呼吸障害が多くみられ、また個別性が高いため、一般的な呼吸不全の治療が適合しない場合があります。長期間にわたって気道確保が必要な方や誤嚥リスクが高い方には単純気管切開や喉頭気管分離術を行うことによって呼吸不全の問題を改善することがあります。それらのメリット、デメリットについても説明がありました。理学療法を行う目標のひとつは本人の生活上の負担を軽減することですが、その基盤には呼吸の安定があり姿勢の要素は大きいものです。重症児（者）は寝ていることも安楽ではないこと、呼吸に良いポジショニングについても具体的に説明がありました。

特に中屋医師からは、喉頭気管分離術について、実際の手術ビデオとそれについての具体的な解説がありました。医療関係者以外の職種では普段目にする事ができない手術場面の動画と臨場感ある説明には一同息を飲む様子が見られました。

当日は療育分野の関係機関から、看護師、教諭、理学療法士、保育士、介護職員等123名が参加しました。多数の質問が寄せられ、時間内ではすべてにお答えができない程の盛況でした。また「わかりやすく良かった」という感想や「もっと詳しく聞きたい」という要望も多く寄せられました。



夕暮れ花火

5 - B 保育士

8月1日（月）から8日（月）までの計5回、夕暮れ花火を実施しました。盆踊りの音楽が流れる中、まずは、メロン、イチゴ、コーラ、カレー、チョコの5種類の香り付き花火を開封して香りを確かめました。笑顔や眉間にしわをよせるなどの表情がみられました。その後、香り付き花火、4種類に色が変わる花火、線香花火などを行いました。3名のご家族の参加があり、ご家族と一緒に花火を楽しむことができました。他病棟、看護科、事務所などからも連日多くの参加があり、おおぜいで賑やかに花火を楽しむことができました。



夏祭り



2 - B 保育士

8月17日に、夏祭りを開催しました。台風接近が心配されましたが、2-B利用者のあつい思いに負けたのか、朝からお天気に恵まれました。

浴衣を着て帯を結び、すまし顔やニコニコ笑顔で期待感が膨らみます。

会場には、提灯が下がり「ゲームコーナー」や「カルピス・お菓子」の出店が並び、更にワクワク感も高まりました。

ゲームコーナーでは「ヨーヨー釣り」「水鉄砲」「ボール投げ」を回りました。ヨーヨー釣りでは、色とりどりのヨーヨーから、お目当ての色のヨーヨーが釣りあがると大歓声。

ベランダの水鉄砲では、皆でハートに穴を開け大歓声。

積まれたダンボールの的に、ボールを当て大歓声で盛り上がりました。

カルピスとお菓子で一休みをしていると、何と！「スペシャルゲストのキムタク（？）とAKBのシノダ（？）」が居るではありませんか！握手をしてもらって大感激でした。

様々なイベントがあって、ワクワク・ドキドキいっぱいの日でした。



サマーコンサート

4 - 2 保育士

8月最初の行事は、誕生会を兼ねた、日野台高校コーラス部の皆さんによるサマーコンサートでした。

恒例の「Happy Birthday to you.」「汽車ぼっぼ」や「海の声」などに加え、アンコールでは、利用者さんの間に入って、素敵な歌声を披露してくださいました。

嬉しそうな笑顔や声、穏やかな表情で聞いていた利用者さん。そばに来てくれた高校生にうっとり…。

2012年から続くこのコンサート、5年目の今年は、利用者さんと作った、ささやかなお礼のメッセージをお渡ししました。

毎年丁寧な文章で連絡をくださり、澄んだ歌声と爽やかな空気を運んでくださる日野台高校コーラス部の皆さん。毎年ありがとうございます。そして、これからもよろしくお願いします。



納涼会

1 - B 保育士

8月3日、納涼会を開催しました。7月の中旬より、グループ活動などで提灯を作りました。色とりどりの提灯を飾るとディルムは祭会場に早変わり！！

今年の納涼会は2部制です。1部は「ルーレットでお菓子を当てよう」「おみくじ」「府中花火大会映写会」「和太鼓」の4つのコーナーをそれぞれ回ります。ルーレットにはチョコや羊羹、スナック菓子、アイスなど、利用者の方が好きな物ばかりを揃えました。それぞれねらったお菓子があるようで、一喜一憂していました。当たるも八卦、当たらぬも八卦のおみくじコーナー。大吉もあれば、凶もあり。おみくじの内容に思い当たる節のある方もいたようで、大盛り上がりでした。和太鼓は祭には付き物。練習の甲斐もあって、利用者の方は上手にたたきます。「どーんどーん」と大きな音をだし、祭を盛り上げてくれました。

2部は皆で輪になって「盆踊り大会」です。炭坑節と東京音頭の2曲を踊ります。毎日DVDを見ながら繰り返し練習をしたので振り付けもばっちり！！他病棟の利用者も入って、賑やかな盆踊りになりました。最後に利用者の方はミッキーのカチューシャをつけてもらいました。このカチューシャは電気を消すとピカピカ光るので、夜祭のような風景になりました。皆の笑顔がとっても素敵で、楽しい夏の1日となりました。





夏の企画 “リオの夏”

指導科 目黒 由美子



7月27日（水）、28日（木）の2日間“夏のリオ”をテーマに、指導科行事を行いました。

1日目は、昨年好評の水族館を開催しました。「葛西臨海水族園」の移動水族館が来てくれました。トラック「うみくる号」では、南国の魚と東京湾の魚の2つの水槽があり、時間を忘れるほどじっくりと魚を見ることができました。タッチプールコーナーでは、静の「ナマコ、ウニ、ヒトデ」、動の「カニ、ヤドカリ」を触れ合いながら観察しました。ナマコの感触に驚きの声はかなり聞こえていました。また、病棟の訪問では小さな水槽にニモ（カクレマノミ）や小さな生き物（カニ、ナマコ）を入れ、ベットサイドで触れ合うことができました。水族園のスタッフやボランティアも利用者一人ひとりに優しい声かけで魚たちとの触れ合いを楽しませてくれました。この日を楽しみにしていた利用者、家族や隣接している神経病院の方なども来場され400名以上の方が賑やかな夏を過ごしていました。

2日目は、あじさい館とグラウンドでオリンピック R i o 2016を行ないました。リオオリンピックに参加する聖火体験では、本物並みのレプリカ聖火台に聖火トーチを持ち点火する仕組みに驚きの声をあげていました。オリンピッククイズやポッチャのゲームで金メダルと景品をゲットするスポーツ体験を味わいました。トロピカルな飲み物や各自で作った色とりどりのアイマスクを付けカーニバルに参加するという盛りだくさんの企画に満足していただけたようです。

「夏の企画」を開催するにあたっては、多くの方々のご協力を頂きありがとうございました。



聖火台と聖火トーチ



トロピカルな飲み物でのどを潤します



勝つのは誰だ！ポッチャで勝負！

〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042(323)5115

Fax 042(322)6207

--*ホームページもご覧下さい*-*-*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>